

妊婦さんに対する RS ウイルスのワクチン接種を開始します。

RS ウイルスとは

急性呼吸器感染症の原因となるウイルスです。乳幼児に多く、保育園・幼稚園などで問題となりますが、高齢者の長期療養施設でも集団発生することがあります。ヒトが生涯にわたって何度も感染を繰り返すウイルスで、新生児にも感染します。生後 1 歳までに半数以上が、2 歳までにほぼ 100% が初感染すると言われています。夏頃から流行開始となり、秋に入ると患者数が急増、年末をピークに春頃まで続きます。

RS ウイルスに感染すると

4~5 日の潜伏期間のあとに軽い風邪症状（発熱、鼻水、軽い咳）～重症化して肺炎や細気管支炎などを起こして入院が必要になる場合もあります。大人であれば軽症ですむことが多いのですが、新生児や乳幼児が感染すると重症化しやすい特徴があります。乳幼児の肺炎のうち 50%、細気管支炎においては 50~90% が RS ウイルスによるものと言われています。

なぜ妊娠中にワクチン接種をするのか

現在、RS ウイルスワクチンで赤ちゃんに直接接種できるタイプのワクチンはありません。ですが、妊娠中のお母さんが接種することで、胎盤・へその緒を通してワクチンの効果が移行し、予防効果が期待されます。つまり、産まれたあとの接種はできませんが、お腹の中にいる間にお母さんを仲介してワクチン接種をして RS ウイルスを予防しようということです。

接種対象：妊娠 24 週~36 週の妊婦さん

接種方法：0.5ml を筋肉注射

料金：35,000 円

ワクチン自体がとても高価なものではありますが、1 回の接種で 2 人分と考えると 1 人あたり 17,500 円になります。まだ免疫力の弱い赤ちゃんが感染して苦しい思いをできるだけすることのないよう、接種を検討してみませんか？妊婦健診で遠慮なく相談してください。

今月の赤ちゃん

2024 年 11 月 3 日

在胎週数（妊娠期間）：38 週 2 日

体重：2945g 身長：49.2cm

入院してきたときにはすでに子宮口 7cm！パパとお兄ちゃん 2 人が立ち会う中、あっという間に産まれてきてくれました。おめめが大きくてとってもかわいい女の子です。

